取扱説明書

［本体の使い方（保証書付）］

品番：NAV-W80

8インチフルセグ・ナビ (高画質24bitカラー) Y13

本機は日本国内でのみ使用するために設計されており、
国外では使用することができません。

This unit is designed for use in Japan only, and
cannot be used in any other country.

目次

■はじめに

■主な機能

■必要な場合に

※本取扱説明書内で使用している画面などの写真やイラストは、プログラムの更新や変更により、製品と若干異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

商品構成一覧

※[　　　] 内は品番です。商品注文時にはこの品番をご連絡ください。

品名	数量
本体	1個
吸着式2軸スタンド ／ スペーサー [AV02ST]	1式
DCカープラグ電源 [AV02DC]	1個 コード長：約1.8m
リアカメラ接続ケーブル [AV01R]	1個 コード長：約2.0m
USB接続ケーブル [AV01USB]	1個 コード長：約0.3m
フイルムアンテナ [AV01LR]	左右各1個
アンテナケーブル [AV01ACD] ×2	2個 コード長：約2.9m
補助トレー [AV01TR]	1個
アンテナコード固定用 クリップ [AV01CL6]	6個
miniB-CASカード	1個
脱落防止ストラップ [AV01STR]	1式
取扱説明書 [NAVW80I] ナビゲーションソフトウェア編 本体の使い方・保証書	1式

■本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

■本書内の製品写真・姿図・イラストは、実際と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

主な特長

■スマートなフルセグメモリーナビゲーション

・スリムでシンプル＆スマートなスタイリッシュデザインを実現しました。
・高解像度(800×480ドット)液晶画面採用。
　地図が鮮明で、地図上の文字も綺麗で読みやすくなっています。
・内蔵ロッドアンテナとは別にフィルムアンテナが付属しており、状況に応じて使用するアンテナを選択することが可能です。

■ナビゲーション機能

・タッチパネルで簡単に操作ができます。
・住所検索データ約3,500万件とナビの基本機能を充実させました。
・3Dアイコン(※)により建物形状が確認しやすく、簡単に探し出せます。
・複数ルートの検索が可能で、推奨・高速道路優先・一般道路・距離優先ルートなどを案内します。
・駅名・周辺の建物からの検索、緯度・経度からの検索ができます。
・道路の種類別にルート色を区分し、クイックスタートおよび自宅までの道を案内します。

※3Dアイコンは、平面地図上に立体的な絵で有名な建物など約700件が登録されています。

■ワンセグ／フルセグ機能（自動切替え機能付）

・ワンセグ／フルセグ放送がお楽しみいただけます。
・アンテナバー表示で受信状態がわかります。
・EPG(電子番組表)対応。画面内で番組確認ができます。

■マルチメディア機能

・Dual-Core CPU搭載。マルチメディア性能を強化しました。
・ナビゲーション案内と音楽再生が同時にお楽しみいただけます。
・動画 (AVI・MP4) の再生ができます。
・音楽を聴きながらフォト (PHOTO) をご覧いただけます。
・microSDカードスロット搭載で、microSDカード内の写真・動画・音楽の再生が可能。(microSD/microSDHC32GBまで対応)

■PIP機能

・画面左側でナビゲーション、画面右側でテレビ・ビデオ・オーディオ画面と分割でき、便利に使用できます。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、以下のように説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	このマーク表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	このマーク表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◆お守りいただく内容の種類を、次のマーク表示で区分し、説明しています。

⃠	このマーク表示は、してはいけない「禁止」内容のものです。
!	このマーク表示は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。

⚠ 警告

配線・取付けに関する警告事項

運転者の視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取付けない

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への設置は、交通事故やけがの原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には絶対に取付け・配線しない

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機器や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。自動車メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取付け・配線に保安部品は絶対に使用しない

保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。

アクセサリソケット（シガーライターソケット）から複数の電源をとらない

アクセサリソケット（シガーライターソケット）に複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、直ぐに医師にご相談ください。

DCカープラグ電源のプラグは奥まで確実に差込む

差込みが不完全な場合、発熱し発火の原因となります。

DC12V/24Vのマイナスアース車で使用する

DC12V/24Vのマイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用できません。火災や故障の原因になります。

アクセサリソケット（シガーライターソケット）は定期的に点検・掃除する

アクセサリソケット（シガーライターソケット）の中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により、発熱し発火の原因となります。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルや足などに巻付かないように配線し、まとめてしっかりと固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因となります。

ご使用に関する警告事項

車両以外には使用しない

船舶・航空機・自転車・バイクなどに使用しないでください。
事故やけがの原因となります。

運転者は走行中に操作したり画面を注視しない

走行中の操作や画面を注視することは、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車させてからサイドブレーキを引いた状態で操作をしてください。

故障や異常のある状態では使用しない

万一故障（画像が出ない、音声が出ないなど）や異常（異物が入り込んだ、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店またはサポートセンターにご連絡ください。
そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因となります。

水のかかるところやほこりの多い場所では使用しない

本機器は防水・防塵仕様ではありません。
火災や発煙・発火、感電、故障の原因となります。

本機器を分解・修理および改造しない（廃棄時は除く）

分解・修理・改造や、コードの被覆を切って他の機器の電源をとったりすることは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因となります。
また、本機器はメモリーバックアップ用の充電式の電池が入っていますが、電池交換はできませんのでご了承ください。

本機器の内部に水や異物を入れない

内部に飲み物等がかからないようにご注意ください。
また、金属類や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良が発生し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。

シガーライタープラグに水などをかけない

プラグに水がかかるとショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。
また、飲み物などがかからないようにご注意ください。

microSDカードは乳幼児の手の届くところに置かない

乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

大音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態での運転は交通事故の原因となります。

運転中はヘッドフォンを使用しない

交通事故の原因となります。

必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因となります。

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内中でも必ず、道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因となります。

航空機内や病院など、高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは電源を切る

電子機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

・心臓ペースメーカー、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について、必ずご確認ください。

⚠ 注意

配線・取付けに関する注意事項

振動の多い場所や不安定な場所に取付けない

傾いた場所や強い曲面などに取付けると、走行中にはずれたり落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

水がかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取付けない

雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

高温になる場所などには取付けない

直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

コードを破損しない

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を置く、熱器具へ近づける、高温なところに接触させるなどはしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

・車体やネジ・シートレールなどの可動部に挟まないように引回してください。
・ドライバーなどの先端で押込まないでください。

必ず付属品や指定部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

はずれたり落下しないように確実に取付ける

取付ける場所の汚れやワックスなどをきれいに拭取り、吸着式2軸スタンドで確実に固定してください。
吸着式2軸スタンドを確実に密着させて固定しなければ吸着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因となります。
特に高温になった時に、吸着式2軸スタンドと吸着面の間の空気が膨張して吸着が弱くなることがありますので、定期的に吸着状態の確認をしてください。

ご使用に関する注意事項

雷が鳴り始めたらアンテナやプラグに触らない

落雷による感電のおそれがあります。

強い衝撃を与えない

落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

テレビ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない

アンテナの先に接触し、事故やけがの原因となります。

使用後は、直射日光の当たらない場所に保管する

直射日光が当たるなど、高温になる場所に放置すると本製品の故障や変形の原因となります。

ナビゲーション本体とスタンドの温度を確認してから脱着する

高温の場所に放置（直射日光などに長時間さらされた場合）したり、長時間続けて使用した場合などは、本体背面の金属レール部やスタンドなどが高温になり、やけどをする可能性があります。

本製品は0℃～45℃の温度範囲内で正常動作するように設計されていますので、必ず正常動作温度範囲内で使用してください。

温度変化に注意する

寒い場所に長時間置いた後、暖かい場所に移動すると結露することがあるため、使用する環境で1時間ほど経過してから使用してください。
また、寒い場所で動作させるとディスプレイが見えにくいことがあるので、本体に電源を入れた状態で本体温度が上がってからご使用ください。

本製品に関する注意事項

◆アイドリングストップ車での使用について

アイドリング時にエンジンが停止する車種など、アクセサリソケット（シガーライターソケット）への給電電圧が一時的に降下する場合、本製品の電源が一旦OFFになり、起動画面になる場合があります。

◆GPSを利用した機器の同時使用について

同じ車両に本機を含め、複数のGPSカーナビゲーションやGPSレーダー探知機などを設置しないでください。
本機および他のGPSを利用した機器の誤動作の原因となります。

microSDカードに関する注意事項

市販のmicroSDカードに音楽や動画、フォトファイルを入れて楽しめます。十分にお楽しみいただくため、下記の事項に注意してください。

●microSDカード・microSDHCカードのclass2/class4/class6タイプが使用できます。
●容量は32GBまで認識できます。
●フォーマット方式については、FATあるいはFAT32でフォーマットしたものを使用してください。（2GB以下：FAT、2GB以上：FAT32）
●一部のmicroSDカード・microSDHCカードは認識されないことがありますので注意してください。

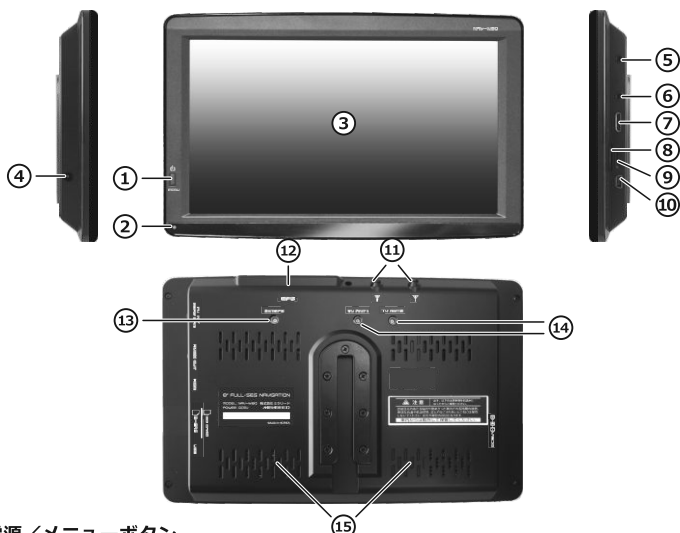
microSDカードに関する注意事項

●microSDカードを磁石に近づけないでください。データが破損したり、カードを認識できなくなることがあります。
●microSDカードを分解したり、変形させたり、端子を汚したりショートさせるなどしないでください。
●オーディオ/ビデオ/フォトの動作中はmicroSDカードを絶対に取出さないでください。（誤作動が発生したり、microSDカードや本機器を損傷する場合があります。）
●microSDカードを無理な力で挿入しないでください。
●microSDカードを取出すとき、カードが飛び出すことがありますので注意してください。
●microSDカードの種類によっては形状精度に問題があり、そのようなカードを使用すると、本機のカードスロットから抜けなくなる場合があります。
その際は本体電源を必ずOFFにしてからピンセットなどを使用してゆっくりと取出し、そのカードは使用しないでください。

タッチパネル液晶ディスプレイに関する注意事項

本製品はタッチパネル液晶ディスプレイです。
ご使用の際には下記の事項に注意してください。

●液晶パネルは視聴できる範囲（視野角）があるので、設置する角度に注意してください。
●傷がつきやすいので、先端の硬いものや鋭利なもの、およびざらつきのあるもので操作しないでください。
●市販の液晶パネル保護フィルムを使用した場合、正常に動作しない場合があります。
●液晶ディスプレイを保護するため、本機を使用しないときは直射日光が当たらないようにしてください。
●直射日光が照りつける場所では視認性が低下することがあるので注意してください。
●低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりするなどの現象が生じることがあります。
定められた温度範囲内で使用してください。（0℃～45℃）
●タッチパネルに過度の圧力をかけないでください。
●タッチパネルは感圧式となっており、適度な力が加えられないと認識されないことがあるので注意してください。
●タッチ位置がずれる場合は、タッチパネル補正をおこなってください。
（P.42参照）

各部の名称および機能

①電源／メニューボタン

このボタンを長く押すと電源がOn/Offになります。
作動中に短く押すとメインメニュー画面(P.26)が起動します。

②電源ランプ

電源を入れるとランプが点灯します。（青色点灯）

③液晶ディスプレイ

タッチパネル液晶ディスプレイで、必要なときに直接画面にタッチすることで簡単に操作できます。

④外部電源端子

付属のDCカープラグ電源 [AV02DC] を接続する端子です。

⑤AV IN（外部入力）／ REAR CAM（リアカメラ）端子

AV IN端子とREAR CAM端子の共通端子になっている為、使用する接続に応じて設定画面（P.40）より設定してください。

・AV IN端子として使用する場合

オプションのRCA変換ケーブル [AV01AV, AV02AV] を使用し、DVDプレイヤー等を接続することにより、外部モニタとしても使用できます。

・REAR CAM端子として使用する場合

付属のリアカメラ接続ケーブル [AV01R] を使用し、オプションのリアカメラ [AV01RC] を接続すると、カメラからの映像を画面に映すことができます。

⑥AUDIO OUT端子
イヤホンやAUX接続を使用する際に接続する端子です。（P.41）

⑦HDMI端子
DVDプレイヤーやスマートフォンのミラーリング接続を使用する際に接続する端子です。

⑧mini B-CASカードスロット
付属のmini B-CASカードを挿入するためのスロットです。

⑨microSDカードスロット
市販のmicroSDカードを挿入するためのスロットで、microSDカードに音楽や動画、写真などを保存してご利用できます。

⑩USB端子
付属のUSB接続ケーブル [AV01USB] 、市販のUSB充電ケーブルを使用し、携帯電話やスマートフォン等の充電をすることができます。
※全ての携帯電話・スマートフォン端末で充電できるわけではありません。予めご了承ください。

⑪内蔵ロッドアンテナ
付属のアンテナケーブルを使用しない場合に、伸ばして使用してください。

⑫内蔵GPSアンテナユニット
GPSアンテナユニットが内蔵されています。

⑬外部GPSアンテナ端子
オプションの外部GPSアンテナ [AV01GPS] を接続する端子です。

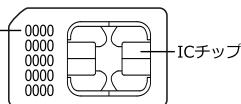
⑭TV ANT1/TV ANT2端子
付属のアンテナケーブル [AV01ACD] を接続する端子です。
※この端子を使用した場合は、内蔵ロッドアンテナは機能しない（無効になる）仕様になっています。

⑮スピーカー
スピーカーが左右に各1個、計2個内蔵されています。（出力 1W×2, ステレオ）

miniB-CASカードをセットする

miniB-CASカードについて

mini B-CASカード番号

※mini B-CASカード番号はmini B-CASカードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモしてください。

⚠ 必ずお読みください。

- mini B-CASカード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ、挿入してください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みください。mini B-CASカードのパッケージを開封すると、使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。
- mini B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

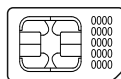
■mini B-CASカード取扱上の注意点

- 折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしないでください。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。
- ICチップ部には手を触れないでください。
- 分解・加工は行わないでください。
- 本製品に付属のmini B-CASカードは地上デジタル放送専用です。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用できません。

※mini B-CASカードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターにお問い合わせください。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL:0570-000-250（詳しくはmini B-CASカード台紙を参照ください。）

■mini B-CASカードの入れ方

①mini B-CASカードを台紙から取外します。
mini B-CASカードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

本体裏面のB-CASカード印字に合わせて、切欠きがある方向から差込む。

切欠き

②本体側面のmini B-CASカードスロットにmini B-CASカードを差込みます。
本体裏面のB-CASカード印字に合わせて、切欠きのある方向から「カチッ」と音がするまで奥に差込んでください。

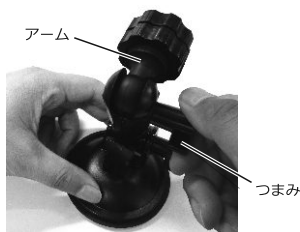
⚠ 必ずお読みください。

- mini B-CASカードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行ってください。
故障の原因となります。

吸着式2軸スタンドの取付け方法

1. 吸着式2軸スタンドを取付ける位置を中性洗剤できれいにし、よく乾かしてください。

注意！
付着面にホコリや水気があるまま取付けた場合、吸着式2軸スタンドがダッシュボードからはずれ落ちる恐れがあります。

2. 吸着式2軸スタンドのアームを正面にくるように曲げ、つまみを軽く締めます。

3. 吸着式2軸スタンドの吸着面の保護シートを剥がし、 設置場所へ吸着面を押付け、さらにレバーを下げてしっかり固定します。

4. 本体の背面に吸着式2軸スタンドのアーム部先端を取付け、アーム部のダイヤルを回して本体をしっかり固定します。

5. 本体をダッシュボードに付くくらい低い位置に取付けたい場合は、本体の下側に付属のスペーサーを貼付けてください。

6. 本体を見やすい角度に調整し、吸着式2軸スタンドのつまみをしっかり締めて固定してください。

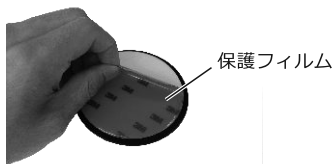
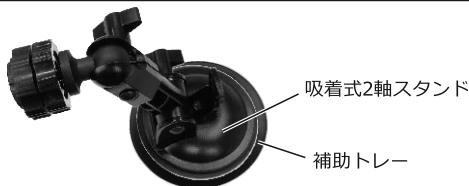
吸着式2軸スタンド用補助トレーの使い方

一部の材質・形状のダッシュボードでは十分な保持力が得られないため、吸着式2軸スタンド用補助トレー（以下、補助トレーという。）を付属しております。

補助トレー

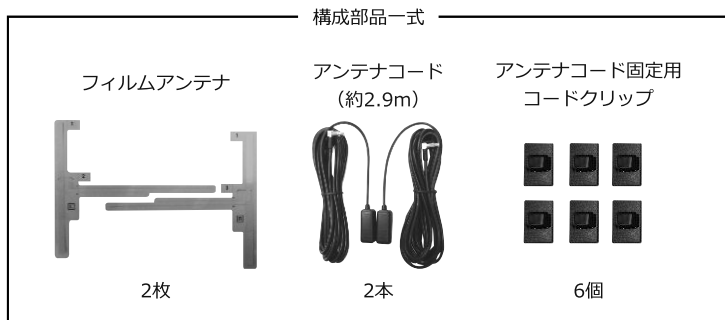
安定した吸着が確保できない場合は、下記取付け手順に従い、この補助トレーをダッシュボードに貼付け、その上に吸着式2軸スタンドを取付けてください。

取付け手順

1. 取付ける位置を中性洗剤できれいにし、よく乾かしてください。
2. 補助トレーの保護フィルムを剥がし、本体をセットする位置に取付けます。

3. 補助トレーの上に吸着式2軸スタンドを取付けます。

⚠注意

- 取付け前に必ず取扱説明書をお読みください。
- 一度剥がすと粘着力が低下するため、貼直しはできません。
- 取付け及び取外しの際、ダッシュボードに傷がつかないようご注意ください。
- 走行前に必ず、本体や吸着式2軸スタンド、補助トレーが確実に取付けされていることを確認してください。

フィルムアンテナについて

構成部品

貼付ける前に

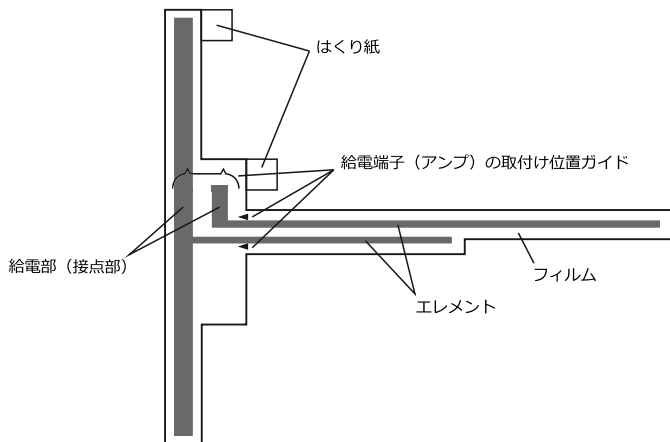
■必ずウインドウの指定の位置・寸法内に貼付けてください。

■後述の「貼付け許容範囲について」および本書の取付け方法をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。（P.20～P.24）
貼付け許容範囲をはみ出して貼付けた場合、車検不適合と判断される場合があります。

■アンテナを貼付ける前に貼付け箇所の汚れを良く落としてください。市販のクリーナーを使用した場合、クリーナー成分が残らないように除去を行い、乾燥させてから貼付けてください。
※本製品にクリーナーは付属されていません。

■必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼付けてください。一度貼付けると貼直しができません。

■フィルムアンテナの貼付け失敗による交換はお受けいたしません。
その際は有償にての提供となります。あらかじめご了承ください。

フィルムアンテナの構成

■ フィルムアンテナは、点検整備済みステッカーや検査標章、熱線などと重ならないように貼付けてください。

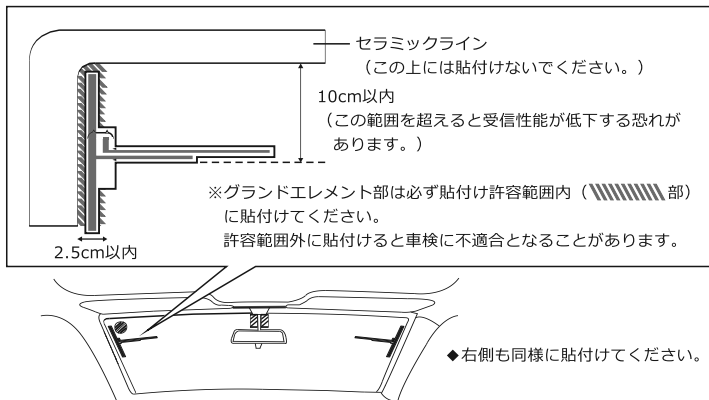
■ フィルムアンテナは、車内側ウインドウに貼付けてください。それ以外の場所には貼付けないでください。

※以下の場合は地デジ／ワンセグ放送を受信しにくい時があります。

● ビルとビルの間を走行または停車している場合。
● 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合。
● 送電線や高圧線の付近を走行している場合。
● トンネル内や鉄橋上を走行している場合。
● ラジオ放送局やアマチュア無線局の放送アンテナ付近を走行している場合。
● 山かげや木立の陰など、樹木が密集している場合。
● 一部の車種に使用されている断熱ガラスや熱遮断フィルムなどにより、電波が遮られる場合。

貼付け位置・貼付け許容範囲について

■アンテナの性能を十分に発揮させるために、必ず下記の位置に貼付けてください。

■他のアンテナを取付けている場合は、電波の障害を防ぐため、他のアンテナから5～10cm程度離して貼付けてください。（下図参照）

貼付け作業時の注意点

■フルムアンテナを折り曲げたり、傷をつけたりしないでください。
断線等により電波の受信感度が悪くなる恐れがあります。

■フィルムアンテナのフィルムや給電端子（アンプ）のはくり紙を剥がした後は、給電部（接点部）などに手を触れないでください。
静電気による故障や汗、汚れなどで接触不良の原因となります。

■フィルムアンテナやコード固定用のクリップのはくり紙を剥がした後は、粘着面には手を触れないでください。
指紋やゴミが付着し、粘着力が低下します。

■フィルムアンテナを貼付けた後、ガラスを拭く時にはフィルムアンテナを強く擦らないでください。
受信感度が低下する場合があります。

■一番前のサイドウインドウには貼付けないでください。

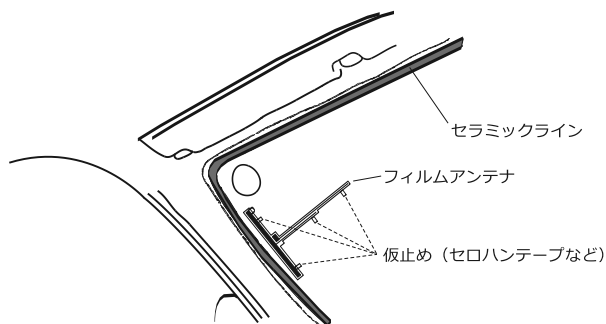
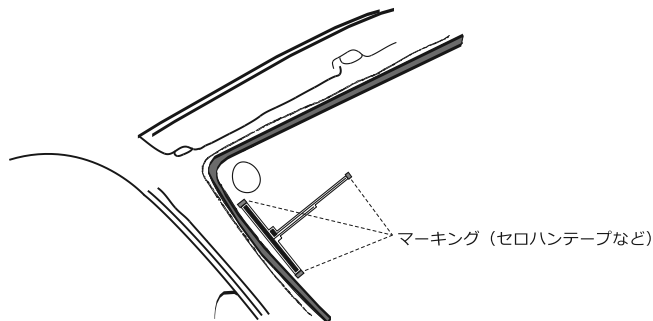
■道路運送車両の保安基準に適合するように取付けてください。

フィルムアンテナの貼付け手順

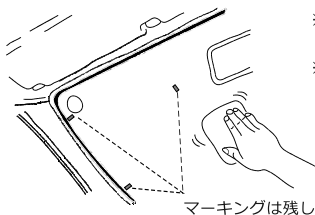
1. 貼付け位置を決める

■前ページの「貼付け位置・貼付け許容範囲について」をよく読んで、貼付け位置を決めてください。

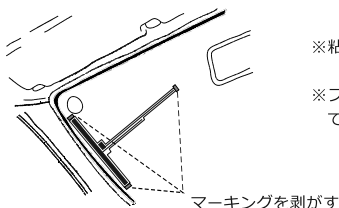
■ここでは左側のフィルムアンテナの貼付け手順を記載いたしますが、右側も同様の手順で作業を行ってください。

①セロハンテープなどでフィルムアンテナを仮止めする。

②フィルムアンテナの貼付け位置を決め、セロハンテープなどでマーキングする。

2. フィルムアンテナを貼付ける

■マーキングを残し、仮止めしたフィルムアンテナを取外してから行ってください。

①ウインドウの汚れをクリーナー等できれいに拭き取る。

※クリーナーはご用意ください。

※ウインドウにクリーナー成分が残らないように除去し、
除去後は十分にウインドウを乾燥させてください。
乾燥が不十分な状態で貼付けると粘着力が弱くなり、
ウインドウに貼付かなくなりますのでご注意ください。

②フィルムアンテナのはくり紙を剥がし、マーキングに合わせて貼付ける。

※粘着部には手を触れないでください。

※フィルムアンテナを貼付けた後、マーキングを剥がしてください。

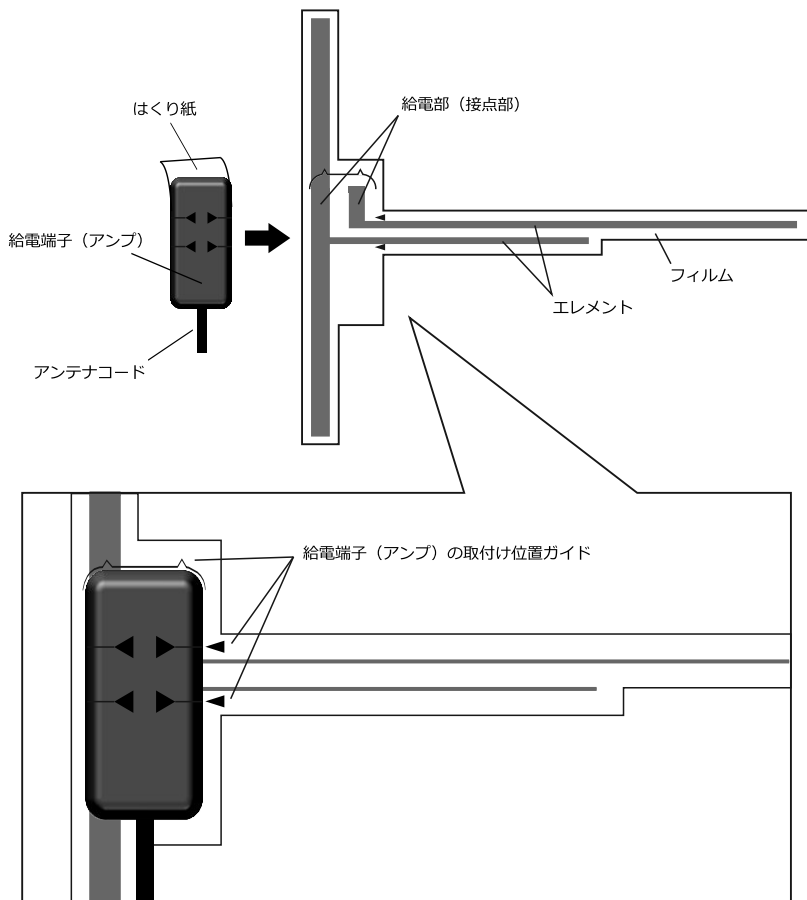
貼付け作業時の注意点

■フィルムアンテナのはくり紙は、エレメントの糊の強さとフィルム自体の糊の強さでバランスを取っていますが、エレメントが細いため、剥がしにくいことがあります。その場合は一度元の状態に戻し、強くこすりつけてからやり直してください。

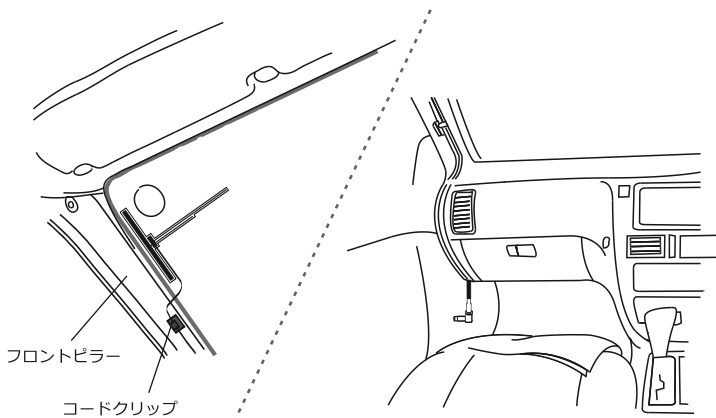
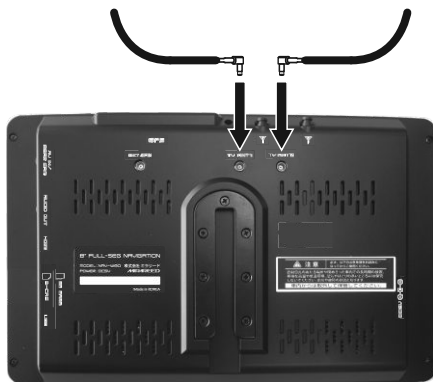
■フィルムアンテナの貼付け直後（約3時間以内）は、フィルムアンテナにガラスクリーナー等を吹付けたり、フィルムアンテナの上を直接拭いたりしないでください。また、フィルムアンテナの上を拭く時は時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷がつかないように注意してください。

3. 給電端子（アンプ）をエレメントに取付ける

①給電端子（アンプ）のはくり紙を剥がし、取付け位置ガイドに合わせて
　エレメントの給電部（接点部）に取付ける。

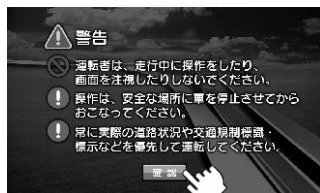
※取付けの際は、給電端子（アンプ）の向きと給電部（接点部）の位置にご注意ください。

4. アンテナコードを配線する

①付属のコードクリップでアンテナコードを固定しながら配線する。

※フィルムアンテナと給電部（接点部）の接続は粘着テープのみの貼付け固定ですので、
　コードを強く引っ張るとアンテナの剥がれや浮きにつながります。
　ご注意ください。

②アンテナコードのコネクタを本体背面の「TV ANT1, TV ANT2」端子へ接続する。

電源のON/OFF

◆電源のON

本体左側の電源／メニューボタンを1秒以上押して電源を入れます。
（DCカープラグ電源から電力が供給された場合は自動で電源が入ります。）

電源が入ると起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。

起動画面　　　　ナビゲーショントップの警告画面

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。（一定時間何も操作が行われなかった場合は、自動的に起動します。）

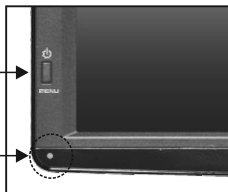
ナビゲーション画面

※起動画面については『設定→画面→スタートメニュー』で設定した画面になります。初期設定は『ナビ』になっています。

※ナビゲーションの操作方法については別冊［ナビゲーションソフトウェア編］をご覧ください。

◆電源のOFF

本体左側の電源／メニューボタンを電源ランプが消灯するまで長押ししてください。
（電源ランプが消灯する前に指を離してしまうと、画面は消えても本体の電源は入ったままの状態になっていますのでご注意ください。）

その場合は一度、電源／メニューボタンを押して画面を表示させ、再度電源ランプが消灯するまで電源／メニューボタンを押し続けてください。
（DCカープラグ電源を抜くと電源が切れます。）

メインメニュー画面

◆メインメニュー画面

①日時表示

・現在の日付と時間を表示します。
※GPS信号を受信していない状態では正しく表示されません。

②microSDカード挿入

・microSDカードが挿入されている場合に白く表示されます。

③スピーカーON/OFF ［ミュート (消音) 機能］

・タッチする毎にスピーカー出力のON/OFFが切替わります。

④ボリューム調整・表示

・システムの音量を10段階で調整します。

⑤アイコン表示切替え

・タッチする毎にアイコンデザインが交互に切替わります。(上図参照)

⑥ナビ

・地図ソフトを起動し、ナビゲーションを開始します。

⑦テレビ

・地デジ／ワンセグ放送を開始します。

⑧ビデオ

・microSDカードに保存されている動画ファイルを再生します。

⑨オーディオ

・microSDカードに保存されている音楽ファイルを再生します。

⑩フォト

・microSDカードに保存されている写真ファイルを再生します。

⑪AV IN

・外部の映像機器から入力される映像／音声を再生します。

⑫HDMI

・HDMI出力対応の映像機器から入力される映像／音声を再生します。

⑬設定

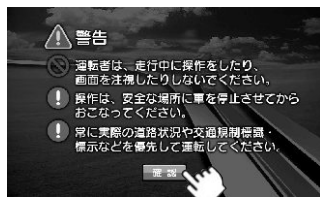
・本体の各種設定を行います。

※本体前面の電源／メニューボタンを短く押すことによってメインメニューを表示
させることができます。

ナビゲーション

◆メイン画面

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、起動画面の後、ナビゲーショントップの警告画面が表示されます。

警告内容を必ずお読みのうえ、確認ボタンをタッチするとナビゲーション画面が起動します。

ナビゲーショントップの警告画面　　　　ナビゲーション画面

※工場出荷時は東京駅に設定されていますが、GPS電波を受信すると現在地を表示します。

※ナビゲーションの操作方法については別冊［ナビゲーションソフトウェア編］をご覧ください。

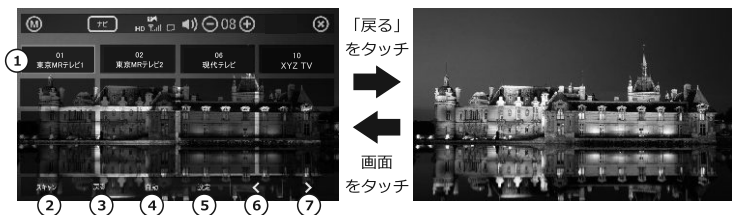
⚠ 警告

- ●運転中は絶対に操作しないでください。
- ●本製品は、車の安全装置に支障をきたさない場所に取付けてください。
- ●本製品を車に装着する場合は、エアバックなどの安全装置に支障をきたす場所に取付けて運転者・同乗者に被害が発生した場合は、装着者の責任となります。

テレビ

■テレビ放送を視聴するときは、必ず付属のフイルムアンテナを接続もしくは内蔵のロッドアンテナを伸ばしてください。
フィルムアンテナまたはロッドアンテナを使用せずに視聴した場合は、テレビ放送を受信できないことがあります。

◆メイン画面

メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、テレビ放送画面が起動します。
初めてテレビ放送を視聴する場合は、自動スキャン後に最初のチャンネル番号のテレビ放送画面が表示されます。

①チャンネルリスト

・スキャンしたチャンネルを表示します。
・チャンネル名を選択してタッチすると、選択したチャンネルの放送が表示されます。

②スキャン

・テレビ放送を見るためには必ずスキャンしなければなりません。このボタンをタッチすると、スキャンした地域で放送されているチャンネルを全て探し出して保存します。
・スキャンが完了すると、最初のチャンネルの放送が自動的に開始されます。

※中継局や系列局が変わるような別の地域に移動した場合は、再スキャンをすることをお勧めします。

③戻る

・タッチすると画面上部のメニューバーとチャンネルリスト表示が消え、テレビ放送画面のみの表示になります。

④受信モード

・タッチする毎に『自動／地デジ／ワンセグ』が切替わります。

⑤設定

・各種設定を行います。（P.29）

⑥ページ送り（<）

・チャンネルリストが複数ページにわたる場合、前のページを表示します。

⑦ページ送り（>）

・チャンネルリストが複数ページにわたる場合、次のページを表示します。

①メニューボタン

・メインメニュー画面を表示します。

②ナビボタン

・メニュー画面に戻ることなく、ナビゲーション画面に切替えることができます。

③放送画質表示

・現在の放送画質が表示されます。
　SD (Standard Definition) : 標準画質
　HD (High Definition) : 高精細度画質

※ナビとテレビの2画面表示時は常にSD（標準画質）固定になります。

④B-CASアイコン

・miniB-CASカードが正しく挿入されている場合に表示されます。

⑤テレビの受信感度レベル

・現在受信している放送の受信感度を表示します。

・×が表示されていると受信不可の状態で、アンテナバーが5本表示されていると受信感度が最大の状態です。

⑥終了ボタン

・テレビ放送を終了します。

◆設定画面

①音声多重

・音声多重の第1音声（言語）と第二音声（言語）を選択することができます。

②二重音声

・主音声／副音声が同時に出ている放送の、音声の種類を選択することができます。
　主：主音声のみ聞こえます。
　副：副音声のみ聞こえます。
　主／副：主音声と副音声の両方が聞こえます。

※通常の放送は一音声のみで、この場合は主・副・主／副のいずれを選択しても同じ音声が聞こえます。

③字幕

・字幕放送視聴時に、画面に字幕表示をするかどうかを選択します。
　オン：字幕が表示されます。
　　※字幕が無い放送では「オン」を選択しても字幕は表示されません。
　オフ：字幕は表示されません。

④画面比率

・画面の表示比率を選択できます。

　ズーム：放送データを横方向にズームした画像になります。

　固定：放送データそのままの画像になります。

⑤チャンネル、時計表示

・オンにすると、画面上部に現在のチャンネル名と時刻を表示します。

※GPS信号やテレビ放送が受信できない場所では正確な時刻が表示されないことがあります。

⑥透明度

・チャンネルリスト表示部の背景の透明度を1～3の3段階に調節できます。

⑦中継・系列局サーチ

・中継局サーチ・系列局サーチ機能のオン／オフを選択します。

■中継・系列局サーチ機能について

本製品には中継局サーチ・系列局サーチ機能を搭載しています。
電波の弱い所や中継局が切替わる場所を走行した場合など、電波を受信できない状態が約30秒間続くと、自動的に中継局サーチを開始します。
中継局サーチを複数回実行後、電波を受信できなかった場合は系列局サーチに切替わります。
いずれの場合も、電波を受信した段階でサーチを終了し、放送画面に戻ります。

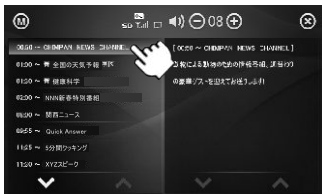
⑧代表チャンネル

・各チャンネルの、チャンネルリストに表示する方法を選択します。

　オン：代表チャンネルのみ表示します。（編成チャンネルが『1』のチャンネル）

　オフ：代表チャンネル＋編成チャンネル全てを表示します。

⑨番組表

・現在放送中のチャンネルの番組表を表示します。お好みの放送番組をタッチすると、詳しい番組内容を見ることができます。

・画面右上の をタッチすると番組表を終了し、テレビ放送の画面になります。

◆ナビゲーション画面でテレビとの2画面表示にする方法

・ ボタン → ボタンをタッチすると、ナビゲーションとテレビの2画面表示になります。

■テレビ放送について

・テレビ放送の視聴中に受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが現れる、静止画面・黒画面、音声が中断されるなどの現象が起こる場合があります。
・車で移動中に受信する場合は、停止状態での受信に比べて受信可能な領域が狭くなり、受信感度が低下します。
　また、車の場所や方向、速度などによって受信状態が変化します。
・本機の受信周波数帯域に相当する周波数を利用した、携帯電話などの機器を本機に近づけると、その影響で映像や音声などに異常が発生する場合があります。その場合は機器から離して使用してください。
・本機はARIB（電波産業会）規格に基づいて仕様設計されています。
　今後ARIB規格が変更される場合には本機の仕様を変更することがあります。
・本機はデータ放送、緊急警報放送には対応しておりません。
・本機には録画・再生機能はありません。

◆メイン画面

・メインメニュー画面で ビデオ ボタンをタッチすると、ビデオのメイン画面が起動します。

動画表示画面をタッチすると全画面表示に切替わります。

①動画表示画面

・選択した動画ファイルの画面が表示されます。
・再生中に画面をタッチするとフル画面になります。もう一度タッチすると元の画面サイズに戻ります。（すでにナビゲーション起動中の場合は2画面表示になります。）

②ナビボタン

・メニュー画面に戻ることなく、そのままナビゲーション画面に切替えることができます。（すでにナビゲーション起動中の場合は2画面表示になります。）

③画面比率設定

・オリジナルサイズ／ズームを切替えます。

④再生モード

・ ：リスト内の動画ファイルを順番に再生します。
・ ：リスト内の動画ファイルをランダムに再生します。

⑤再生経過時間／再生トータル時間

・現在再生中の動画ファイルの再生経過時間／再生トータル時間を表示します。

⑥再生位置表示（シークバー）

・現在の再生位置を表示します。シークバーの上をタッチすると、シークバーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑦スキップ（－）

・1つ前の動画ファイルに移動して再生を始めます。

⑧巻き戻し

・タッチする毎に約10秒戻って再生を始めます。

⑨再生／一時停止

・選択した動画ファイルを再生します。再生中は一時停止アイコンに変わります。
・一時停止中は再生アイコンに変わり、もう一度タッチするとファイル再生が中断された箇所から再生を始めます。

⑩早送り

・タッチする毎に約10秒進んで再生を始めます。

⑪スキップ（＋）

・1つ後の動画ファイルに移動して再生を始めます。

⑫上位フォルダに移動

・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。

※最上位フォルダにいる場合はタッチしても反応しません。

⑬ビデオリスト表示

・microSDカードに保存されている動画ファイルをリスト表示します。

⑭リストダウン

・タッチすると1つ後のリストページに切替えます。

⑮リストアップ

・タッチすると1つ前のリストページに切替えます。

⚠注意

●動画ファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。

●動画ファイルの再生には下記の条件が必要です。

・再生可能ファイル：AVI, MP4

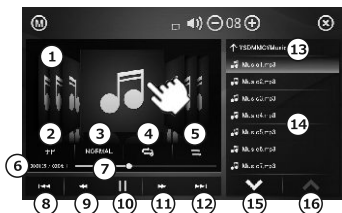
・サイズ：800×480

上記の条件に合わせて動画を変換する必要があります。
変換作業を行う際は市販の変換ソフト等をお買い求めください。

※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。
予めご了承ください。

オーディオ

◆メイン画面

・メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、オーディオのメイン画面が起動します。

①アルバムジャケット画像表示

・再生中の音楽ファイルにアルバムジャケット等の画像が埋め込まれている場合はその画像を表示します。

②ナビボタン

・メニュー画面に戻ることなく、そのままナビゲーション画面に切替えることができます。（すでにナビゲーション起動中の場合は2画面表示になります。）

③イコライザ設定

・タッチする毎にROCK,JAZZ,NORMAL,CLASSIC,POPと切替わり、お好みのモードを選択できます。

④リピートモード

・ ：1つの音楽ファイルを繰り返し再生します。

・ ：全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。

・ ：繰り返し再生は行いません。

⑤再生モード

・ ：リスト内の音楽ファイルを順番に再生します。

・ ：リスト内の音楽ファイルをランダムに再生します。

⑥再生経過時間／再生トータル時間

・現在再生中の音楽ファイルの再生経過時間／再生トータル時間を表示します。

⑦再生位置表示（シークバー）

・現在の再生位置を表示します。シークバーの上をタッチすると、シークバーがタッチした位置に移動し、移動した箇所から再生が始まります。

⑧スキップ（－）

・1つ前の音楽ファイルに移動して再生を始めます。

⑨巻き戻し

・タッチする毎に約10秒戻って再生を始めます。

⑩再生／一時停止

・選択した音楽ファイルを再生します。再生中は一時停止アイコンに変わります。

・一時停止中は再生アイコンに変わり、もう一度タッチするとファイル再生が中断された箇所から再生を始めます。

⑪早送り

・タッチする毎に約10秒進んで再生を始めます。

⑫スキップ（＋）

・1つ後の音楽ファイルに移動して再生を始めます。

⑬上位フォルダに移動

・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。
※最上位フォルダにいる場合はタッチしても反応しません。

⑭ミュージックリスト表示

・microSDカードに保存されている音楽ファイルをリスト表示します。

⑮リストダウン

・タッチすると1つ後のリストページに切替えます。

⑯リストアップ

・タッチすると1つ前のリストページに切替えます。

◆マルチタスキング機能

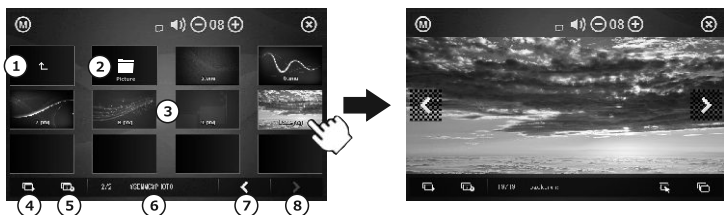
オーディオはフォトおよびナビと同時実行が可能です。
オーディオメニューで音楽を再生中に本体の電源／メニューボタンを押し、メインメニューからフォトやナビを実行すると、フォトやナビ機能を利用しながら音楽を楽しめます。

⚠注意

- 音楽ファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。
- 再生できるファイルはMP3, WAVです。
  ※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。
  予めご了承ください。
- 一部のファイルでMP3, WAVへ正しく変換できなかった場合に、再生できない、途中で別の曲に変わってしまうなどの現象が起こる場合があります。
  この場合はもう一度ファイル変換を行ってから再生してください。
- オーディオを終了させずにナビを実行すると、音楽が流れた状態でナビが動作します。この場合、ナビの音声案内はオーディオの音と同時に出力されます。このときナビの音声案内が流れると、自動的にオーディオの音量が小さくなります。

フォト

◆メイン画面

・メインメニュー画面で [フォト] ボタンをタッチすると、フォトのメイン画面が起動します。

①上位フォルダに移動

・サブフォルダがある場合、このボタンをタッチすると上位フォルダに移動します。
※最上位フォルダにいる場合はタッチしても反応しません。

②サブフォルダ

・サブフォルダがある場合に表示されます。
　サブフォルダをタッチすると、サブフォルダ内のファイル一覧が表示されます。

③イメージリスト表示部

・フォルダ内にあるイメージがサムネイルで表示されます。
　サムネイルをタッチするとフル画面でイメージを見ることができます。

④スライドショー

・タッチすると保存されているイメージが設定した時間間隔で自動的に切替って表示
　されます。
　スライドショーを中断するには画面をタッチしてください。

⑤スライドショーの時間設定

・タッチする毎にスライドショーの時間間隔を2,5,10,15,20,25秒の中で設定します。

⑥ファイルパス

・現在のファイルパスを表示します。

⑦ページ送り（－）

・タッチすると前ページのイメージリストを表示します。

⑧ページ送り（＋）

・タッチすると次ページのイメージリストを表示します。

⚠注意
●イメージファイルを再生するためには別売のmicroSDカードを準備してください。

◆フル画面

・メイン画面のサムネイルをタッチすると、フル画面でイメージを見ることができます。

①イメージ送り（－）

・前のイメージを表示します。

②イメージ送り（＋）

・次のイメージを表示します。

③イメージファイル数表示

・同一階層内のイメージファイル数を表示します。
（表示中のイメージ番号／イメージ総数）

④ファイル名表示

・現在表示中のイメージファイルのファイル名を表示します。

⑤ユーザー背景設定

・表示中のイメージファイルをメインメニューの背景に設定します。

⑥メイン画面表示

・フォトのメイン画面に戻ります。

※約5秒間何も操作しなかった場合、もしくはイメージをタッチすると、画面上の全てのアイコンが消えます。
もう一度イメージをタッチするとアイコンが現れます。

⚠注意

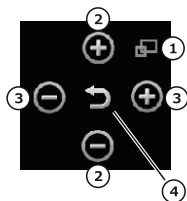
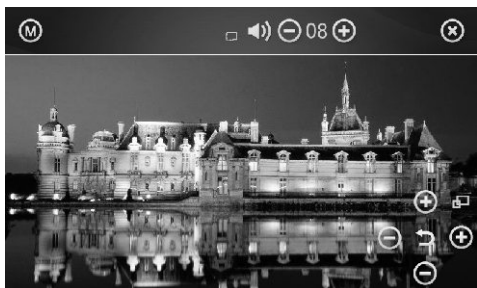
●イメージファイルの再生には下記の条件が必要です。
・再生可能ファイル：BMP, JPG, GIF, PNG
・サイズ：800×480（推奨）

※再生できる最大ファイルサイズは3600×3600で、これより大きなファイルサイズでは誤作動を招く恐れがありますのでご注意ください。
※記載のファイル形式であっても正しく再生できない場合があります。
予めご了承ください。

AV IN

◆メイン画面

・メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、AV IN のメイン画面が起動します。
オプションのRCA変換ケーブル [AV01AV, AV02AV] を使用し、DVDプレイヤー等を接続することにより、外部モニタとしても使用できます。

※AV IN機能を使用するためには『設定』→『画面』タブ→『入力選択』で『AV IN』を選択してください。

①画面比率切替え

・タッチする毎にオリジナルサイズとズームを交互に切替えます。

②ズーム（縦方向）

・＋をタッチする毎に縦方向に映像が引き伸ばされます。
・－をタッチする毎に引き伸ばされた映像を縮めます。

③ズーム（横方向）

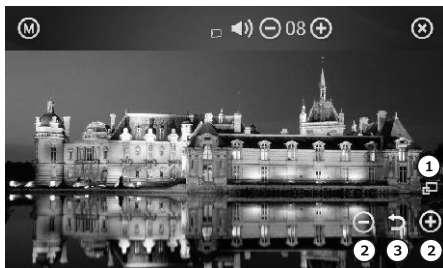
・＋をタッチする毎に横方向に映像が引き伸ばされます。
・－をタッチする毎に引き伸ばされた映像を縮めます。

④リセット

・ズーム操作された映像を元の状態に戻します。

HDMI

◆メイン画面

・メインメニュー画面で［HDMI］ボタンをタッチすると、HDMIのメイン画面が起動します。
本機のminiHDMI端子に市販のHDMIケーブルや変換コネクターを使用して、お手持ちのHDMI出力機能付のDVDプレーヤー等の映像を表示できます。
また、HDMI出力機能があるスマートフォンを、市販のHDMI変換アダプターやHDMIケーブル・変換コネクター等を使用し、スマートフォンの画面をそのまま本機の画面にミラーリング表示を行なうことができます。

①画面比率切替え

・タッチする毎にオリジナルサイズとズームを交互に切替えます。

②ズーム（横方向）

・＋をタッチする毎に横方向に映像が引き伸ばされます。
・－をタッチする毎に引き伸ばされた映像を縮めます。

③リセット

・ズーム操作された映像を元の状態に戻します。

⚠注意

- 接続機器や端末によっては、画面解像度の違いや端末の仕様により上下左右に黒い帯が表示され、表示領域が狭くなったり、タブレットなどの解像度の高い（解像度720×480ドット以上）端末などを接続した場合、映像の一部領域しか映らない場合があります。
  また、上下のズーム機能はありません。
- スマートフォンのミラーリングは表示は、HDMI出力機能のあるスマートフォン端末のみに対応しています。HDMI出力には、市販の変換アダプターやHDMIケーブル・変換コネクターが必要になります。また、すべての端末で対応を保証するものではありません。
- ミラーリング表示は、スマートフォンの映像・音声を出力するだけの機能です。本機側でアイコン選択などのタッチ操作はできません。操作はスマートフォン側で行なってください。
- ミラーリング表示は、基本的にはスマートフォンからの映像をそのまま表示する機能ですが、端末のHDMI機能の仕様によってはに強制的に横画面表示になったり、動画再生モードや写真閲覧モードでは、動画や写真のみの出力になったりする端末があります。
- ミラーリング表示は、スマートフォン側の機種依存の仕様に左右される機能です。

詳しくは端末の取扱説明書などでご確認ください。

設定

・メインメニュー画面で ボタンをタッチすると、設定画面が起動します。

■画面設定画面

①スタートメニュー

・電源入力時の初期表示を設定します。

ナビゲーション：ナビゲーション画面を表示します。

メインメニュー：メインメニューを表示します。

最終画面：電源をOFFする直前の画面を表示します。

（テレビ・ビデオ・オーディオのみ）

②後方駐車線

・オンに設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。

③ユーザー背景

・オンにすると、microSDカードに保存されているオリジナルの画像（推奨サイズ：800×480）をメインメニュー画面の背景に設定することができます。（P.37）

④昼・夜間モード

・画面の明るさを設定します。

オン：設定した時間帯に応じて、明るさを変更することができます。

オフ：時間帯に関係なく、常に設定した明るさになります。

<u>昼間明るさ</u>

・昼間モード時の画面の明るさを10段階（0〜10）で設定します。

ボタンをタッチすると暗くなり、 ボタンをタッチすると明るくなります。

<u>夜間明るさ</u>

・夜間モード時の画面の明るさを10段階（0〜10）で設定します。

ボタンをタッチすると暗くなり、 ボタンをタッチすると明るくなります。

<u>夜間開始時間／夜間終了時間</u>

・夜間モードの時間範囲を設定します。

※設定範囲外の時間は昼間モードの時間範囲となります。

⑤入力選択

・本体側面の『AV IN／REAR CAM』入力端子への入力方法を設定します。

AV IN：AV入力端子として使用します。

REAR CAMERA：リアカメラ端子として使用します。

■サウンド設定画面

①タッチ音

・画面をタッチする際のタッチ音の有無を設定します。

②サウンドミックス

・ナビゲーションとワンセグ／オーディオを同時に起動している場合の音声出力方法を設定します。

オン：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声も同時に出力されます。
（テレビ／ビデオ／オーディオの音声は一時的に小さくなります。）

オフ：ナビゲーションの音声案内時、テレビ／ビデオ／オーディオの音声はミュート状態になり、ナビゲーションの音声案内のみが出力されます。

③出力設定

・各種機能のオン／オフを設定します。

イヤホン：オンにすると、本体側面の『AUDIO OUT』端子から音声信号が出力されます。

スピーカー：オンにすると、本体背面のスピーカーから音声が出力されます。

⚠注意

●本体の電源をOn/Offしても設定を維持します。

■バージョン情報画面

①バージョン表示

・製品のソフトウェアバージョンを確認できます。
　※これらの情報は、実際の製品の情報とは異なる場合があります。

②タッチ補正

・画面をタッチした部分と実際に反応した部分にズレがある場合はタッチ補正を行ってください。
・このボタンをタッチすると、補正確認画面が表示されます。
　「はい」をタッチすると補正機能が実施され、画面の指示に従い、＋印の中央をタッチする操作を5回繰り返すと補正が完了します。
　「いいえ」をタッチすると、補正作業がキャンセルされ、元の設定画面に戻ります。

③初期化

・全ての設定項目の値を工場出荷時の設定に戻します。

④アップグレード

・システムのアップグレードを行います。
　※アップグレードを行うには専用のmicroSDカード（別途販売予定）が必要です。

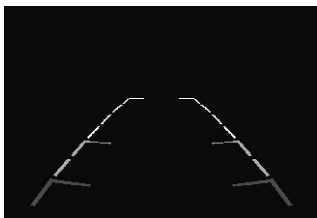
リアカメラ（後方カメラ）

■リアカメラ（後方カメラ）の使用

・画面設定画面で入力選択を『REAR CAMERA』に設定すると、リアカメラを通じて自車の後方を確認できます。
・本機の『REAR CAM』端子にリアカメラを接続し、カメラからの映像信号が入力されると、自動的にカメラ映像の画面に切替わります。

<table><tr><th>⚠注意</th></tr><tr><td>●カメラは本製品には含まれていません。別途ご用意ください。
●弊社製オプション品以外を使用しての動作・故障は保証外とさせていただきます。
●カメラの設置は、カメラに添付されているマニュアルに従って行ってください。</td></tr></table>

■後方駐車線の使用

・後方駐車線をオンに設定すると、リアカメラからの映像画面に駐車案内線が表示されます。

■リアカメラの接続について

リアカメラの映像出力端子とリアカメラ接続ケーブルの映像入力端子を接続し、リアカメラ接続ケーブルのもう一方のミニプラグを本体側面の『REAR CAM』端子に接続します。

弊社製リアカメラ（オプション品）
※写真はAV01RC

故障かなと思ったら

■GPS信号が受信できない

・建物の間や高架道路、トンネルなどの場所を避け、空の見える安定した場所で受信を確認してください。

■音楽・動画・フォトが再生できない

・本誌に記載されている『再生できるファイル形式』を確認してください。

■スピーカーやイヤホンから音声が出ない

・スピーカー出力やイヤホン出力設定がオフになっていないか確認してください。
・ボリュームのレベルを確認してください。
・ミュート状態になっていないか確認してください。
・イヤホンの場合はプラグが正しく差込まれているか確認してください。

■画面が暗い

・設定メニューで画面の明るさを調整してください。

■画面がフリーズして操作ができない

・一旦本体の電源をOFFにし、しばらくしてから電源を入れてください。

■放送が途切れたり、チャンネルスキャンができない

・アンテナを立てて受信しやすい方向に移動するか、アンテナの位置を調整してください。

■microSDカードが認識されない

・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。
・対応しているmicroSDカードはSD・SDHCタイプ、最大32GBまでです。それ以外のmicroSDカードは対応していませんので、使用しているmicroSDカードを確認してください。
・ファイルシステムがFAT32になっているかを確認してください。
・microSDカードに異物が付着していないか確認してください。

■microSDカードが抜けない

・microSDカードの種類によっては形状精度に問題があり、そのようなカードを使用すると、本機のカードスロットから抜けなくなる場合があります。
その際は本体電源を必ずOFFにしてからピンセットなどを使用してゆっくりと取出し、そのカードは使用しないでください。

■タッチパネルにタッチしてもうまく動作しない

・タッチパネルを爪で触れるようにタッチしたり、十分な力が加えられないと認識しないことがありますので、正確にタッチしてください。
・設定メニューでタッチ補正を行ってください。

■電源が入らない

・DCカープラグ電源が正しく接続されているか確認してください。
・DCカープラグ電源のヒューズが切れていないか確認してください。
・接続端子部分に異物が付着していないか確認してください。

■吸着式スタンドがうまく付かない

・取付けたい場所の異物を取り除いてください。
・吸着式スタンドの吸着面を水できれいに洗い、乾かしてからもう一度取付けてください。

製品仕様

OS	Windows CE 6.0
CPU	1.0GHz Dual-Core
SDRAM	256MB
フラッシュメモリ	8GB（内蔵型NAND Flash）マップデータ用
SDカード	microSD/microSDHC（32GB）
ディスプレイ	TFT液晶（タッチパネル式）
解像度	800×480
USB	V2.0HS（UMS）
スピーカー出力	1W×2，ステレオ
電源電圧	DC 5V
動作温度	0〜45℃
寸法	約 210mm(W)×135mm(H)×23mm(D)
本体重量	約 460g
GPS	
GPSアンテナ	内蔵型パッチアンテナ／外部GPS端子
テレビ	
アンテナ	内蔵型ロッドアンテナ／外部アンテナ端子
チャンネル	13ch〜62ch
マルチメディア	
ミュージック	MP3, WAV
ビデオ	AVI, MP4
フォトビューワ	BMP, JPG, GIF, PNG
オーディオ出力	ステレオ出力（3.5mmピンジャック）
その他	
リアカメラ	NTSC

品質保証

・弊社では下記の通り、品質保証を行っています。
・製品の故障が発生した場合はサポートセンターへご連絡ください。

■無償サービス

ご購入後1年以内に故障が発生した場合は、無償サービスを受けられます。
ただし、一般製品を業務用として転用し、ご使用になった場合は、保証期間が半分に短縮されます。

◆被害タイプ補償内容
正常使用範囲で発生した性能・機能上の欠陥により、故障が発生した時（故障による不良に限る）
・保証期間内：交換および無償修理
・保証期間後：有償修理

■有償サービス

1. 故障ではない場合
・故障ではない場合やサービス請求した場合は、料金はお客様の負担となります。
必ず最初に取扱説明書をお読みください。
2. お客様の過失による故障の場合
・お客様の取扱い不注意または修理・改造により故障が発生した場合。
・弊社のサービス委託業者および指定協力会社の技術者でない者が修理して故障が発生した場合。
・設置後、落下などによる故障・損傷が発生した場合。
・弊社製でない消耗品やオプション品を使用したことにより故障が発生した場合。
3. その他
・天災（火災、塩害、水害など）やその他事故により故障が発生した場合。

◆保証期間を経過してしまった場合でも、修理によって機能が維持できる場合に限り、お客様のご要望により有料修理いたします。
修理金額の見積もり・修理期間などについては、お買い上げの販売店またはサポートセンターへご相談ください。
◆弊社は、このナビゲーションの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造終了後3年間保有しています。

保証規約

1.保証期間
当社の保証期間は、ご購入日から1年間となります。
保証期間内であれば、ご購入いただいた商品の修理を無償で行います。保証を受ける場合は、購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）と一緒に保証書をご提示ください。これらのご提示がない場合は有償修理となりますことをあらかじめご了承ください。

2.本製品の使用により生じた直接的・間接的な損害につきましては、いかなる場合も当社は一切の責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。

3.保証書は日本国内でのみ有効です。

4.保証の除外事項
下記のような場合には、保証期間内であっても有償修理となります。

- ・本製品の取扱説明書に記載されている使用方法および取扱方法、注意事項に反する使用によって生じた事故・破損。
- ・ご購入後の輸送事故や落下・振動等、不適切な取扱による事故・故障。
- ・火災・水害等の不測の天変地異、または異常電圧、指定以外の電源使用等の外部要因に起因する事故・故障。
- ・接続先または接続元の機器に起因する事故・故障。
- ・ご購入後のお客様による分解・修理・改造に起因する事故・故障。
- ・消耗品の交換。（付属品は初期不良のみ保証の対象となります）
- ・機械寿命以上に使用された場合。
- ・保証書のご提示がない場合。
- ・購入期日を証明できる書類（レシート・販売店証明書など、いずれも販売店が明記されているものに限ります）のご提示がない場合。

付属品に関しては消耗品となりますので、初期不良以外は保証の対象外となります。
あらかじめご了承ください。

◆本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店およびサポートセンターへご連絡ください。
◆交換、修理（有償・無償）、払い戻しおよび保証期間中など、その他の保証規定は消費者保護法の保証基準に依拠します。
◆本製品のオプション品やその他、ご不明な点などのお問い合わせは、お客様相談センターへご連絡ください。
◆本製品の不具合や修理に関するお問い合わせは、サポートセンターへご連絡ください。

保証書

品　　　　番	NAV-W80
保　証　期　間	お買い上げ日から１年間
お買い上げ日	年　　月　　日
製　品　番　号	S/N
販売店	

見本

オプション品やその他、ご不明な点などのお問い合わせ

●ミラリードお客様相談センター

06-6455-7637

受付時間：10：00 ～ 12：00，13：00 ～ 17：00（平日のみ）

不具合や修理に関するお問い合わせ

●ミラリードサポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-8857**

受付時間：10：00 ～ 17：00（年中無休）

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

株式会社ミラリード

■東京本社　〒106-0046　東京都港区元麻布3-12-2
■商品案内URL　http://www.mirareed.co.jp

※取扱説明書の内容は、機器のソフトウェアバージョンおよびGPS衛星状態により異なる場合があります。
また、お客様に事前の通知なしに変更されることがあります。